

全校集会 学校長の話（2025年9月16日）

- おはようございます。先週の土曜日、「大阪市中学校 生徒理科研究発表会」が、大阪教育大学の施設で開催されました。そのプレゼンの部で、本校のサイエンス部の3つの発表が、佳作の賞をいただきました。サイエンス部の皆さん、本当におめでとうございます。
- 今回の発表は、ネットで集めた知識を並べたものではありません。化石を見つけに何度も和歌山まで足を運び、校内では木の枝や葉を拾って土に埋め、また朝顔を育ててグリーンカーテンを作ったりと、日々観察を続けました。汗をかき、泥にまみれ、失敗も記録し、それでも自分の目と手で確かめてきた。その積み重ねが、今回の成果につながりました。
- さて、最近「こたつ記事」という言葉を耳にします。その言葉だけを聞くと、「こたつのように暖かい内容の記事」と思いますが、違います。意味はとてもシンプルで、現場に行かず、ネットの情報だけを寄せ集めて書いた記事のことです。もちろん世の中の多くのニュースは、記者が現地で話を聞き、確かめ、まとめています。だからこそ伝わる空気があり、温度があります。画面の向こう側にある事実を、足で確かめるかどうか。ここに大きな差が生まれます。
- 「こたつ記事」の反対が「フィールドワーク」です。実際に出かけ、見て、触れて、測って、書きとめる。サイエンス部の取り組みは、まさにそれでした。机の上だけでは気づけないことに、外に出ると気づけます。におい、音、空気、重さ。言葉にしにくい手ざわりが、分かることを増やしてくれます。
- 明日、3年生は大阪・関西万博に行きます。世界の展示や最新の技術を、その場で見て、聞いて、感じるチャンスです。パンフレットや動画で知ると、会場で目の前に立つのとでは、心に残る深さが違います。ぜひ「おお、すごいな」「ここが面白いな」と、自分の言葉で短くメモしてみてください。帰ってきてから家族に伝えられると、それが次の学びのきっかけになります。
- 普段の学校での勉強「座ったままの学び」はもちろん大切ですが、フィールドワークのような「動く学び」も大事です。明日の万博でも、たくさんの「動いた分だけの発見」を持ち帰ってくることを願っています。3年生は気をつけて行ってきてください。以上です。